

令和5年度 学校運営協議会だより 第2号

令和5年7月27日

——— 令和5年度 第2回 学校運営協議会を開催しました ———

7月14日（金）に今年度2回目となる、学校運営協議会を開催しました。

前回は学校教育目標の改訂とその経緯について本校校長より委員の皆様にお伝えし、併せて今年度の学校経営計画の提案について承認していただきました。今回は学校と地域のよりよい協働体制について情報をいただくことを主な目的として開催しました。

小学部、中学部、高等部の地域との連携による教育活動を紹介した後、委員の皆様から貴重な御意見や情報をいただくことができましたのでご報告します。

- ◎ 目的
- ・委員による校内参観を行い、本校や本校の児童生徒への理解を深める。
 - ・本校の教育活動における地域の方々とのつながりや、地域資源の活用についての理解を深め、学校と地域のよりよい協働体制について検討する。

◎ 今年度の学校運営協議会委員

| | | | |
|-------------------------|---------|--------------|---------|
| 前小山町教育長 | 天野 文子 様 | 御殿場市 尾尻区長 | 塩川 満 様 |
| トヨタ自動車（株） 東富士研究所管理部 | 天野 安明 様 | 御殿場市役所富士岡支所長 | 坂上 剛 様 |
| 社会福祉法人ステップワン 理事長兼施設長 | 根上 豊子 様 | 本校PTA本部役員 | 鈴木 里美 様 |
| 御殿場市役所危機管理課 | 中村 信雄 様 | | |

◎ 当日の様子と内容

前日に引き続き、コーディネーターの御殿場市役所富士岡支所長の坂上剛委員が会を進行してくださいました。限られた時間の中で内容を進めて頂いたり、話題に応じて各委員から意見を伺ったりしていただきました。ありがとうございました。

○校長挨拶

新型コロナウイルス感染症の5類への移行に伴い、感染拡大防止の対応については換気や手洗い、健康観察の3つを基本としていること、また、これまでのコロナ対応により、児童生徒たちに衛生管理や体調管理の習慣が身についてきており、感染拡大には至っていないことが伝えられました。実際の教育活動についても水泳や職場実習が制限なしで再開され、コロナ禍前の子どもたちの元気な姿が戻ってきており、本日の参観でもそのような姿を見ていただきたいとの話がありました。

○校内参観

短い時間ではありましたが、小・中・高のそれぞれの学部の知的・肢体重複学級を参観していただきました。児童生徒、教員がマスクを外して笑顔で取り組む授業を見ていただき、天野文子委員からの「子どもたちがのびのびと学んでいる、先生方の細やかな配慮のおかげでもある。」との嬉しいお言葉や、中村信雄委員からの「先生たちが一人ひとりの子どもたちにしっかりと寄り添っている。」との教員の姿勢を認めていただくお言葉をいただきました。



○協議・質疑

協議に先立ち、副校長より、本校の児童生徒にとっての「地域」は基本的には居住地ではあるが、通学するこの学校の周辺も同様の意味での「地域」と捉えており、これまでも、これからも地域とのかわりを大切にしながら教育活動を行っていききたいとの話がありました。続いて、小・中・高のそれぞれの学部主事より、地域との連携による学習活動について報告がありました。以下、ほんの一部ですが、主なものについて紹介いたします。

小学部では友達と一緒に遊びを楽しんだり、思い切り身体を動かして遊んだりすることを目的に神山自然公園やふじざくらで遊具や広場を利用する校外学習を行っている。また、ふじざくらでは図書室利用の活動も設定し、公共施設を利用する際のマナーや、他の利用者への配慮についても学習する機会としている。

中学部ではよさこいの踊りを伝統としており、地域の会の方に指導を仰いでいる。他の地域交流としては、大坂区の老人会とのレクリエーション交流や富士見原地区の方たちとの清掃活動をとおした交流を行っており、生徒たちも地域の方も交流を楽しみにしている。

高等部では同年代の生徒同士がかかわり、互いに学び合う経験をするを目的として、御殿場高校との交流を行っている。また、地域の方からお飾り作りの指導を受けて作業製品を製作したり、神山自然公園を管理されている方と共に清掃作業をしたりするなど、働く体験の機会をいただいている。毎年の2・3年生の職場実習は、地域の事業所の協力なしでは実施できない。本当に感謝している。

以上の報告を受け、委員の皆様からは多くの御意見や御感想をいただきました。

鈴木里美委員からは保護者の立場からも御意見をいただきました。地域のお茶やわさびに関する体験学習は子どもが楽しんで帰ってくる姿が見られたが、個人単位では機会を得ることが難しい学習であり、地域の方々に協力していただいていると感じているとの感謝の言葉をいただきました。

塩川満委員からは、神山自然公園は子どもが思い切り遊ぶためには最適の環境であり、花の副会長を務めている立場からも、今後も積極的な活用を図っていただきたいとの御意見をいただきました。



根上豊子委員からは、学校教育から労働、働くことへの移行に際し、生徒たちにはとまどいもあるかと思うが、職場実習を受け入れると「大変だったけど楽しかった」との感想が多く、学校で学んだことを地域で実践する機会が大切だと感じている、との御助言をいただきました。

中村信雄委員からは防災の観点から、富士山噴火の際には数日以内に学校にも溶岩流が及ぶことの想定が必要である、との御指摘をいただきました。その上で、災害時の保護者への児童生徒の引き渡しの方法や課題の検討については共に考えていきたいとお言葉をいただきました。また、夏季休業中に予定されている職員防災訓練にも御参加いただけることとなりました。

天野文子委員からは、体験を伴う学習活動が多く設定されているのは特別支援学校ならではの特徴であり、五感を刺激し、多くの感覚を活用するよい学習となっている、との御意見をいただきました。また、地域での学習に伴う人との交流は社会性を身につける第一歩となるため、学校外の社会の中で自分を発揮できるようにするための大切な機会と捉え、教員側の計画や準備には相当な時間や労力を要すると思われるが、地域の様々な資源を是非活用して欲しいとの御助言をいただきました。

また、中学部主事からはよさこいの踊りの講師を探していること、校長からはA L Tの指導者を探していること、その点について地域の情報があれば教えていただきたい、とお願いがありました。中村信雄委員と坂上剛委員より、自衛隊が地域に向けて様々な講師の派遣を行っている事業があり、まずは広報課に尋ねてみてはどうか、との回答をいただきました。

○校長挨拶

まず、本日の会をとおして地域がより近くなったと感じた、との率直な感想がありました。また、学校運営協議会制度には、「教育活動をより豊かに、そして、来ていただいた地域も共に豊かに」という理念があり、地域の活動を学校持ち込んでいただくことを今後も歓迎し、学校と地域が互いに豊かになるような視点で今後も協議を続けていきたい、との話がありました。